

同一時点低線量 CT／通常線量 CT ペアを用いた肺病変の評価

1. 研究の対象

2025 年 9 月から 2027 年 8 月の期間に大阪大学医学部附属病院および滋賀医科大学医学部附属病院、大原総合病院の 3 施設で胸部 CT 検査を受けられた方・受けられる方

2. 研究目的・方法

近年、通常の CT 検査と比較し、より低い被ばく線量で検査を実施する、低線量 CT が注目され、少しでも少ない被ばく線量で検査を行い、正確な画像診断を行おうと挑戦する研究が進んでいます。一方で、肺癌を含めた肺疾患の画像診断において、低線量 CT がどの程度有用なのかは、まだはっきりわかっていません。

本研究の目的は、同じ検査で得られた低線量 CT と通常線量 CT の画像を比較し、肺癌などの病気の見え方や画質の違い、定量評価に与える影響を比較評価することです。

本研究では、通常臨床用に撮影された肺の CT データを検討します。既存の CT データを用いるため、放射線の被ばく増加はありません。低線量 CT と通常線量 CT の画像を比較し、肺の正常構造や、病気の見え方を比較検討します。基本的には、患者さんの通常臨床用に作成された画像データや臨床データを使用しますので、患者さんの検査や負担が増えるようなことはありません。

この研究は、大阪大学医学部附属病院、滋賀医科大学医学部附属病院、大原総合病院の 3 施設の共同研究です。

研究期間：滋賀医科大学学長許可日～2030 年 3 月 31 日

利用又は提供を開始する予定日：滋賀医科大学学長許可日以降

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、喫煙歴などの生活歴、病歴、画像データ、組織データ、血液検査データ等

4. 外部への試料・情報の提供

大阪大学医学部附属病院から外部への情報の提供はありません。

本院および大原総合病院で取得した情報については、個人情報thatわからない状態に加工した上で、解析施設である大阪大学大学院医学系研究科 放射線医学統合講座 放射線医学に提供します。情報の出力・共有にあたっては、各共同研究機関のデータ管理責任者の監督のもと、業務委託先である Canon メディカルシステムズ株式会社の担当者が、データの出力・取りまとめならびに大阪大学大学院医学系研究科 放射線統合医学講座 放射線医学への提出等の事務作業を支援します。なお本学での試料・情報の管理責任者は滋賀医科大学学長とします。

5. 研究組織

(利用する者の範囲)

大阪大学大学院医学系研究科 放射線医学統合講座 放射線医学
滋賀医科大学 放射線医学講座
大原総合病院 放射線科・画像診断センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

滋賀医科大学 放射線医学講座
研究責任者 永谷 幸裕

住所：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL：077-548-2288／FAX：077-544-0986